

金沢霞堤地区 地元説明会意見集約

会議開催日 令和6年12月14日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊川市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
1	資料1の10pに、昭和44年8月洪水における小堤完成後の浸水範囲とあるが、昭和44年8月洪水はただの洪水ではなく災害救助法が適用された、豊川が決壊した洪水である。決壊した場所であるのに、なぜ本堤が整備されないのか。いつの間にか計画も「浸水被害軽減計画」にすり替わっている。霞堤を文化遺産のように扱う報道なども過去あったが、文化遺産であるなら右岸側だけ締め切る必要はない。左岸側だけ霞堤を残し堤防が整備されないことは不平等であり、憲法違反ではないのか。	豊川河川整備計画では小堤整備が位置づけられている。（設楽ダムが完成していても完成堤を整備すると他の地区で水位が上昇し、計画高水位を越えてしまうところが生じてしまう）	国	
2	小堤ではなく本堤はいつできるのか。過去に設楽ダム群が完成するまで本堤はできない、という話であった。	現行の整備計画は小堤整備のみ位置付けられているため、本堤については次期整備計画の中で検討していく予定です。	国	
3	資料1の10pに、昭和44年8月洪水推定浸水深がT.P15.7とあるが、T.P15.7というのは去年の浸水と同じ数字なので、実際の水位と少し異なっている。霞堤のポータルサイトに過去の浸水範囲等が示されているが、作業部会でも指摘しているように実態の浸水範囲等と異なっている。	国、県、市が情報共有等を図りつつ、連携して、改善が必要な箇所は改善を進めていきます。	国・県・市	
4	河川整備計画の流量について計算の仕方がおかしいと思われる点が多々ある。河川整備基本方針も7100m³/sという流量があるが、架空の流量分が含まれている可能性がある。	流出計算により流量を算定しており、間違いは無いが条件等を確認します。	国	
5	放水路が開けられれば金沢地区の被害が減る可能性は高い。ゲートの開閉による被害なのであれば、人為的な被害ではないのか。	開放するタイミングの違いによる金沢地区への影響はほとんどないと推定されます。	国	
6	過去の洪水などの被害状況の記録が豊川市、愛知県が公表している情報と異なっている。上記の改善を作業部会などを通じて要求しており、1つずつ潰していきたい。	国、県、市が情報共有等を図りつつ、連携して、改善が必要な箇所は改善を進めていきます。	国・県・市	
7	2年前から農業を始めたがその年に被害に遭い、被害額は2000万円を超えている。このままでは家が潰れてしまう。この土地を守って、この土地で暮らしていきたい人の気持ちにもっと寄り添ってほしい。次期整備計画で検討しますや勉強会などではなく、やるか・やらないのか、早急に何かしらの回答を出してほしい。	皆様の意見を踏まえ、積極的な予算要求活動を行い、予算確保に努めていく。予算が確保でき次第、できるよう、準備を進めている状況です。	国	
8	本堤の検討はいつから始めるのか。検討時期くらいは回答できるのではないか。	現整備計画の完了が令和16年度であるため、それより何年か前に次期整備計画の検討を進めていきます。	国	
9	祖父川樋管の工事発注はいつ行うのか。	予算要求はしているが、いつ発注できるかは現時点では答えられません。	国	
10	平成29年頃の地元説明会の時に、金沢地区は賀茂や下条の犠牲になるのか？という発言をした際、当時の副所長は犠牲にしますという回答されている。後から言葉の綾だという説明は個人的にされたが、誤解を招く表現でしたということを住民には説明してほしいと意見しているが何も訂正されずに現在に至っている。そういった経緯もあり金沢地区の住民としては犠牲になっているという心情が強くなっているのを理解してほしい。	行政関係者一同、犠牲になってほしいとは決して思っていない。 ただ、整備には長い時間と多くの予算が必要になることはご理解いただきたい。	国	
11	設楽ダムの工事の延期も住民にはなにも説明なく決まって進められているので、せめて追加の見直し（危険水位の設定の要領、情報発令の遅れ等）をしてほしい。	霞堤地区においてリードタイム（水位上昇速度及び避難等に要する時間）を考慮し、危険水位を設定した場合、どの程度の水位になるか検証していく予定です。	国	
12	補償支援や計画の見直しなどはしっかり明文化してほしい。	農作物被害等に対する補償支援制度、相談窓口の確認を行った。今後は、市、県、国で勉強会を開催し、問題点などを共有するとともにどのようなことが可能か話し合いをおこなう予定です。	国・県・市	
13	今年の作業部会で、住民の要望を取りまとめて提出している。事務局で作り変えることなく、そのまま公開してほしい。	要望はそのまま公開していく予定です。	国	

金沢霞堤地区 地元説明会意見集約

会議開催日 令和6年12月14日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊川市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
14	自身は40代であり、農家からサラリーマンに戻るができるギリギリの年代である。次期整備計画を検討するとあるが、それを待っている猶予は地元はない。お年寄りの方々もたくさんいる。小堤整備をやるか・やらないのか、やる場合はいつ着手するのか、答えをはっきり出してほしい。	被害を少しでも軽減できるような対策として工事用道路を設置し、樋管の施工に向けた準備を進めている。予算が確保でき次第、樋管施工にも着手していく。その後に小堤整備も実施していきます。	国	
15	本来ならこの地元説明会は8～9月に行われる予定だったが住民の切実な要望の回答がなかなか得られず今日の開催に至っている。水位などの細かい数値の見直しも半年前から要求しているがそれも見直されていない。人の命がかかっているので、とにかく1歩でも2歩でも被害が軽減するような対策を早くすすめてほしい。		国	